

第3回 “スピン・軌道・多極子がもたらす 新規界面物性の開拓”に関する研究会 @東北大学電気通信研究所 第20回 界面スピン軌道 研究会 第3回 量子界面研究会

主催：東北大学電気通信研究所&CSRN 共同プロジェクト研究
スピン・軌道・多極子がもたらす新規界面物性の開拓

2021年11月27日,28日開催

話題提供者

11月27日 13:30-17:30

増田啓介(NIMS)： TMRの温度依存性に対する新たな理解に向けて:sd交換相互作用の重要性

芝田悟朗(東京理科大)： 5d遷移金属における磁気八極子: 最近の研究から

小泉 洸生(筑波大)： $\text{NiCo}_2\text{O}_4(001)$ 薄膜の円錐磁気異方性とその特異な磁気輸送特性

三谷誠司(NIMS)： 軌道流に関する考察：拡散長、フォノンとの結合、および、デバイスの可能性

小懇親会 18:00-

11月28日 9:30-11:30

小田洋平(福島高専)： 種々の金属・合金の磁気特性および伝導現象の第一原理計算に関する最近の話題

三浦良雄(NIMS)： 機械学習による磁気物性探索：TMR素子バリア材料の最適化

